

第14回醇風夜ざくら道路に寄せて

醇風地区まちづくり協議会会長 丸山博史

今年も地域の皆様のご協力により「夜ざくら道路」を開催することができました。14年引き継がれてきた醇風ボンボリ、袋川と美しい桜並木は、私たちの心の風景、大切なお宝になっていることに改めて感激しました。

これからも住みやすく楽しい醇風地区でありますよう、住民の皆さんと一緒に取り組んで行きたいと思います。引き続き、当協議会へのご参加・ご支援をお願い致します。

写真で見る夜ざくら道路アラカルト



あおぞらギャラリーでギャラリートーク

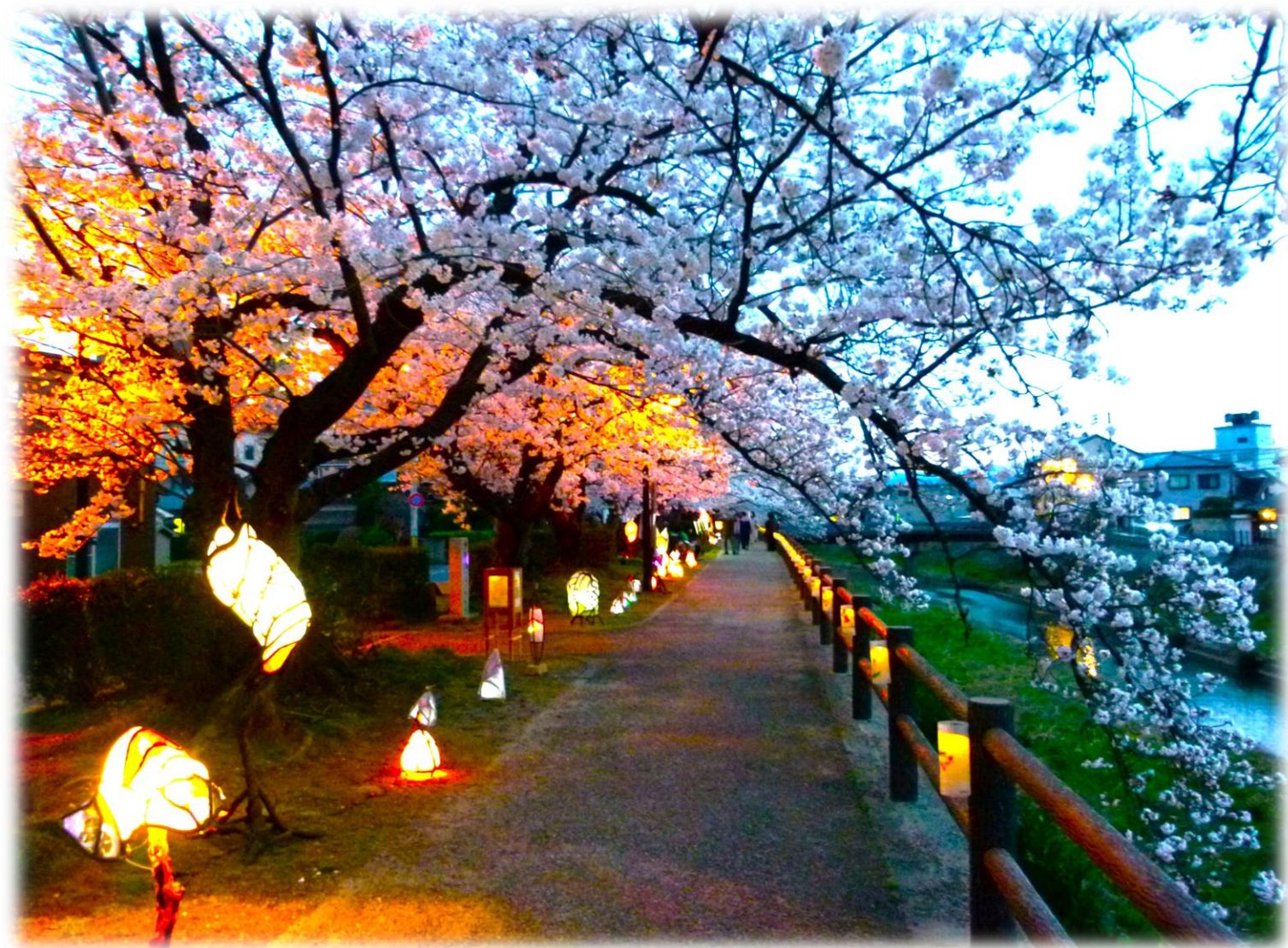
この春、待望の県立美術館がオープンしました。今後、いっそう美術作品に触れる機会が増えるものと思います。醇風夜ざくら道路でもイベント期間中に、満開の桜の下で、醇風地区公民館絵画教室と切り絵教室の生徒さんの

作品によるあおぞらギャラリーが開催されました。展示期間中に教室の講師である米澤高明さんによるギャラリートークが行われ、それぞれの作品の講評や美術作品の見方について解説していただき、生徒さんたちは熱心に聞き入っていました。

教室の生徒さんにはご高齢になってから筆を持たれた方もいらっしゃいます。また、公民館では、絵画、切り絵だけでなく、コーラス、川柳、書道習字、体操関係などさまざまな教室が開催されています。何歳からでも遅くはありません。ご自分に合った教室を選び、うるおいのある生活を楽しまれてはどうでしょうか。



第14回醇風夜ざくら道路特集



まちづくり協議会だより

(愛称：醇風四十一通信) 第二十一号

【発行】

醇風地区まちづくり協議会
事務局：醇風地区公民館

醇風のボンボリが桜とともに袋川を彩る

春爛漫の夜ざくら道路

袋川の夜桜にボンボリを足せば、川沿いの遊歩道はドラマに出てくるような小径へと変わります。恒例の醇風夜ざくら道路の行事が、今年も開花に合わせて、3月23日から4月1日にかけて行われました。

地域の保育園・幼稚園、小・中学校の児童・生徒や地域の皆様が、思い思いに描いた色とりどりの絵は、実行委員会(児島均委員長)のメンバーが丁寧にボンボリに仕上げました。出来上がった約500個のボンボリは、袋川桜土手に取り付けられ、夜桜をほんのりと照らしました。

花見に訪れた地域の皆様は、昼とは違う幻想的な雰囲気の中、遊歩道を歩き、闇に浮かぶ桜を楽しんでいました。

ボンボリにあわせて、あおぞらギャラリー、川柳作品、和紙あかりも飾られ、桜土手のまつり気分を盛り上げました。

この度のイベント開催にあたってご協力いただきました地域の皆様をはじめ、醇風小学校、西中学校、みたらから保育園、おつみこども園、鳥取第二幼稚園、ディハウスじゅんぷうの皆様にはたいへんお世話になりました。うございました。

